学校番号	1009

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「NEXT　数学Ⅲ」　（数研出版）						
副教材等	「クリアー　数学Ⅲ」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　数学は正しい論理の積み重ねです。定義を正しく理解しましょう。
・　問題の解答は、ただ覚えたりそれを真似して似た問題を解いたりするだけでなく、解答で重要なことは何なのかという本質をしっかり理解して身につけるようにしましょう。
・「何を理解して何を理解できていないか」を確認しながら学習しましょう。また、１つのことを学んだ後、それを振り返って考えるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学的に表現する技能を身につける。
・事象を論理的に解釈したり表現することで、数学的に問題解決を行ったり、その過程・結果を振り返り、統合的に考察する力を養う。
・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度､問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	分数関数・無理関数等の関数、数列・関数の極限及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	関数の性質やグラフの特徴に着目し，論理的に考察する力，極限の考え方、収束・発散に着目し，その性質を論理的に考察したりする力，微分法・積分法の計算方法に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	関数	・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数	a:分数関数、無理関数のグラフを描くことができる b:分数関数、無理関数の性質を理解し、これらの関数を用いた方程式、不等式を解くことができる c:既習の関数の逆関数や合成関数について理解を深め、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	数列の極限	・数列の極限 ・無限等比数列 ・無限級数	a:数列の収束、発散について理解することができる b:数列、無限等比数列、無限級数についての理解を深め、問題への応用ができるようになる c:無限に続く数列、級数への理解を深め、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	関数の極限	・関数の極限(1)(2) ・三角関数と極限 ・関数の連続性	a:関数の極限の性質について理解し、計算することができる b:様々な関数の極限についての理解を深め問題への応用ができるようになる c:中間値の定理について理解し関数の連続性について考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
2学期	導関数	・微分係数と導関数 ・導関数の計算	a:微分係数、導関数の定義を確認し、計算することができる b:関数の定数倍、和、差、積、商の導関数についてその性質を理解し、問題への応用ができるようになる c:合成関数、逆関数の微分法についての理解を深め、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	いろいろな関数の導関数	・いろいろな関数の導関数 ・第n次導関数 ・曲線の方程式と導関数	a:三角関数、対数関数、指数関数の導関数について理解し、計算することができる b:　第n次導関数について理解し、問題への応用ができるようになる c:導関数の理解を深め、様々な関数の導関数について考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題

	導関数の応用	・接線の方程式 ・平均値の定理 ・関数の値の変化 ・関数のグラフ	a:様々な曲線の接線、法線の方程式、増減表、極大、極小、変曲点を求めることができる b:増減表を基に関数のグラフを描くことができる c:関数のグラフについて、凹凸、漸近線などについて理解を深め、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	いろいろな応用	・方程式、不等式への応用 ・速度と加速度 ・近似式	a:速度、加速度、近似式について理解し、計算することができる b:関数の増減を用いて、不等式の証明ができるようになる c:微分法と現実生活との関りについて理解し考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
3学期	不定積分	・不定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分	a:不定積分の基本性質について理解し、計算することができる b:置換積分法、部分積分法について理解し、問題への応用ができるようになる c:いろいろな関数の不定積分について理解し、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	定積分	・定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・定積分のいろいろな問題	a:定積分の基本性質について理解し、計算することができる b:定積分の置換積分法、部分積分法について理解し、問題への応用ができるようになる c:定積分が面積を表すことを理解し、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	積分法の応用	・面積 ・体積 ・道のり ・曲線の長さ	a:定積分を用いて、与えられた曲線で囲まれた部分の面積、道のりについて計算することができる b:定積分を用いて、立体、回転体の体積を求めることができることを理解し、問題への応用ができるようになる c:定積分を利用すると体積が求められることを理解し、考察することができる	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度